

2016年4月20日

# 自民党主催の多言語音声翻訳システム展示会で 音声翻訳アプリ「鉄道通訳」の出展を行いました

京急線で行われている具体的な社会実験として、高い評価を受けました

京浜急行電鉄株式会社（本社：東京都港区，取締役社長：原田 一之，以下 京急電鉄）は株式会社ブリックス（本社：東京都新宿区，代表取締役社長：吉川 健一，以下 ブリックス）と2016年4月13日（水）に自由民主党が開催した第2回多言語音声翻訳システム展示会（以下「本展示会」）に機械翻訳と電話通訳のハイブリッドアプリである「鉄道通訳」（以下「本アプリ」）の出展を行いました。

展示ブースには自由民主党所属国会議員のみならず各団体・企業にもご参加いただき，具体的な社会実験事例として，高い評価を受けました。

本アプリは，ブリックスおよび国立研究開発法人情報通信研究機構（本部：東京都小金井市，理事長：坂内 正夫）と共同研究のもと開発されたもので，2016年2月17日（水）から羽田空港国際線ターミナル駅等の京急電鉄の12駅をフィールドとして実証実験を行っています。



展示会当日の様子



「鉄道通訳」アプリ画面と通訳電話ボタン

## 1. 通訳支援アプリ「鉄道通訳」について

京急電鉄, 情報通信研究機構, ブリックスの3者共同研究「鉄道分野における多言語音声翻訳の性能向上及び運用性向上に関する共同研究」を通じて評価用に開発された, 機械翻訳と電話通訳を組み合わせた通訳支援アプリです。なお, 「鉄道通訳」は一般には公開されていません。

開始日: 2016年2月17日(水)

提供駅: 品川駅, 京急蒲田駅, 羽田空港国内線ターミナル駅, 羽田空港国際線ターミナル駅, 京急川崎駅, 横浜駅, 上大岡駅, 金沢文庫駅, 金沢八景駅, 横須賀中央駅, 三浦海岸駅, 三崎口駅

対応言語: 英語・中国語・韓国語

※この研究内容に関するお問い合わせ

情報通信研究機構 広報部報道担当 TEL 042-327-6923

株式会社ブリックス 広報担当 TEL 03-5366-6018

### 【株式会社ブリックス】

ブリックス[株式会社オウケイウェイヴ(証券コード: 3808)の子会社]は, 24時間365日, 「世界標準」をキーワードに6か国語(日本語/英語/中国語/韓国語/ポルトガル語/スペイン語)をベースにした外国語コンタクトセンターを運営しています。電話通訳, 翻訳, バイリンガル人材派遣をはじめ, 旅行会社向けに開設した夜間休日緊急デスクでは業務渡航者向けのトラベルコンシェルジュの提供, 海外顧客にも対応したアプリの開発など, システムも含めたグローバルBPOサービスを展開しています。医療用語や法律用語など専門的な用語にも対応し, 自治体や公共交通機関, 医療機関, 商業施設, 金融機関, 旅行会社など, 訪日外国人旅行者を受け入れる企業への外国語サポートやグローバル展開される企業などへの導入実績があります。

### 【京浜急行電鉄株式会社】

昭和23年6月1日設立

東京南部から川崎・横浜・三浦半島までの東京湾の西側を中心に事業を展開しており, 本線, 空港線, 大師線, 逗子線, 久里浜線の5路線を運営しています。都心から電車で1時間ほどのエリアに, ビジネス, 国際空港, 産業, 住宅, 観光など, 沿線は様々な顔を持っています。京急電鉄は, 鉄道とICTの組合せで沿線価値向上を探求するプロジェクト「Railway×ICT」に取り組んでいます。

以上